

【債権管理・入金消込業務実態調査レポート】70%以上がシステムを活用し、入金消込作業を実施しているが、約65%が手間が掛かっていると回答。R&ACが入金消込業務の実態調査レポートを発表。

経理業務で重要な入金消込業務は基幹・会計システムなどで実施しているが、業務負担が解決できていない状態

2022年8月、債権管理・入金消込の自動化システム「Victory-ONEシリーズ」を開発・販売する株式会社アール・アンド・エー・シー（本社：東京都中央区、代表取締役：高山知泰、以下R&AC）は、全国の経理業務に関わる20代～60代男女1637名に入金消込業務の実態を調査した。今回の調査についてR&ACは以下のように分析しました。「債権管理・入金消込業務は多くの企業でシステム化されているにも関わらず、業務が効率化されていないケースが伺えます。システム化されていると回答した企業においては、入金入力などによる消込業務のシステム化自体には対応できていたとしても、自動照合等による業務効率化まではできていないということが推察されます。そのため、R&ACは引き続き、債権管理・入金消込システムの開発に尽力していきます。」



## 2022年入金消込業務 実態分析レポート

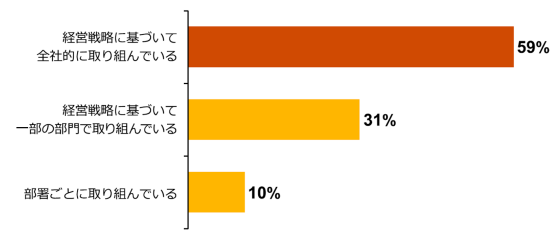
株式会社アール・アンド・エー・シー

© R&AC Co., Ltd. All rights reserved.

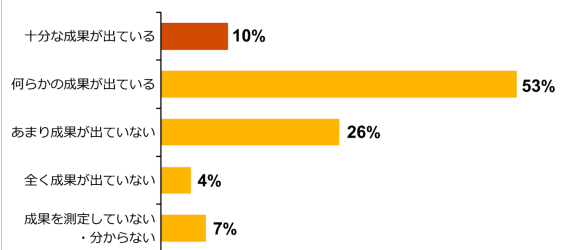
- 近年トレンドになっているDXが加速

PwCコンサルティング社のDX推進実態調査によれば、「全社的にDX推進に取り組んでいる」企業は約60%、DXの取り組みの「成果が出ている」のは63%になっています。

図表 1：DX の取り組み状況



図表 2：DX の取り組み成果



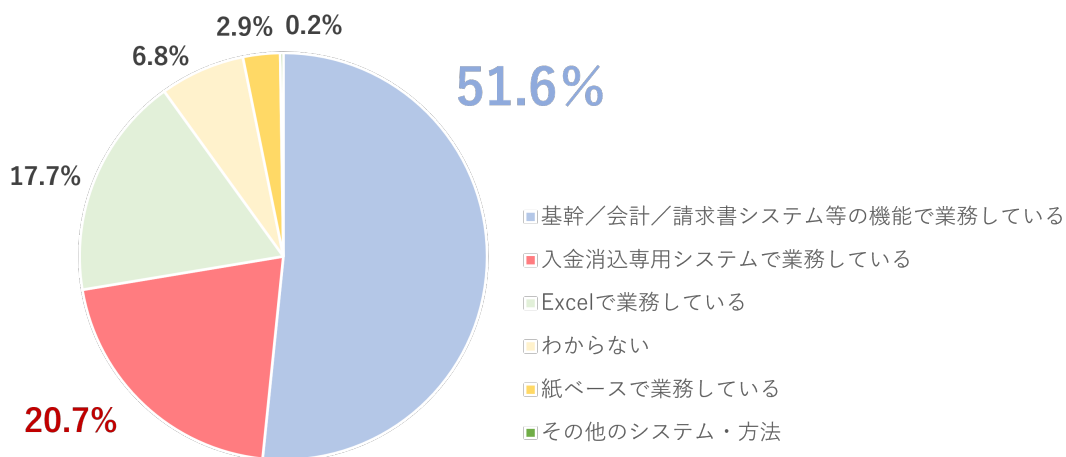
※引用：2022年 PwCコンサルティング社「日本企業のDX推進実態調査2022」n=1,103

<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/thoughtleadership/dx-survey2022.html>

近年トレンドとなっているDX（デジタル・トランスフォーメーション）は、日本企業でも取り組みが増え、成果を得られている企業も多く出ています。DXが進んでいる中、経理業務の一つである債権管理・入金消込業務も業務フローやシステムの見直しなどが進んでいるのか、実態を調査しました。

• 70%以上が入金消込業務にシステム利用している

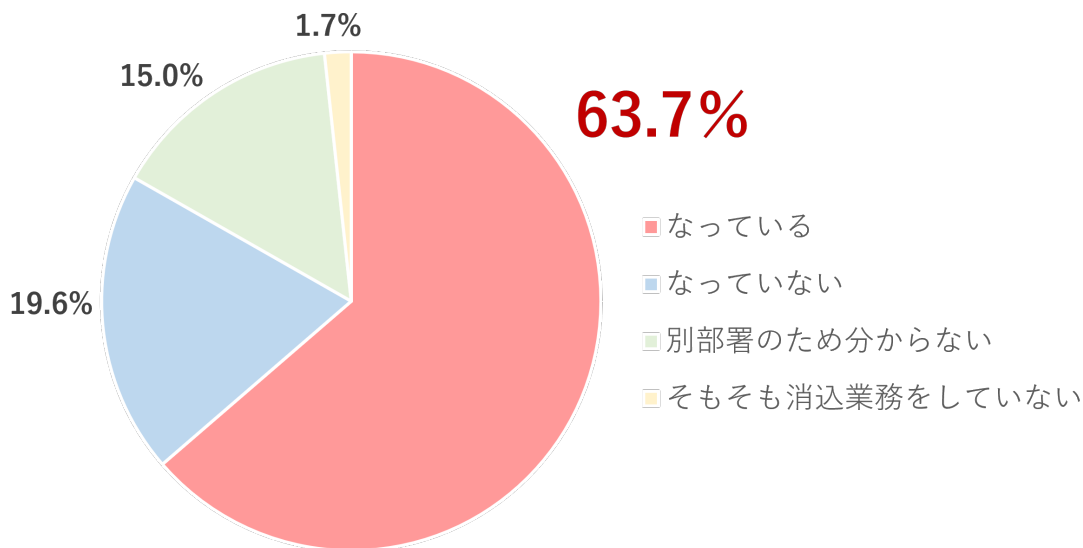
Q.1：債権情報（請求情報）と入金情報の照合作業（いわゆる入金消込作業）は、どのようなシステムで業務していますか？



51.6%が基幹/会計/請求システム等の機能で照合作業しているという結果となっています。入金消込に特化したシステム利用は約20%となり、約70%以上が入金消込業務にシステムを利用しています。経理周辺システムにはオプション機能として債権管理・入金消込オプションなどが付随することも多いため、約半数の方は付随機能を利用しているとも考えられます。

• 60%以上が入金消込作業に手間や時間がかかっている

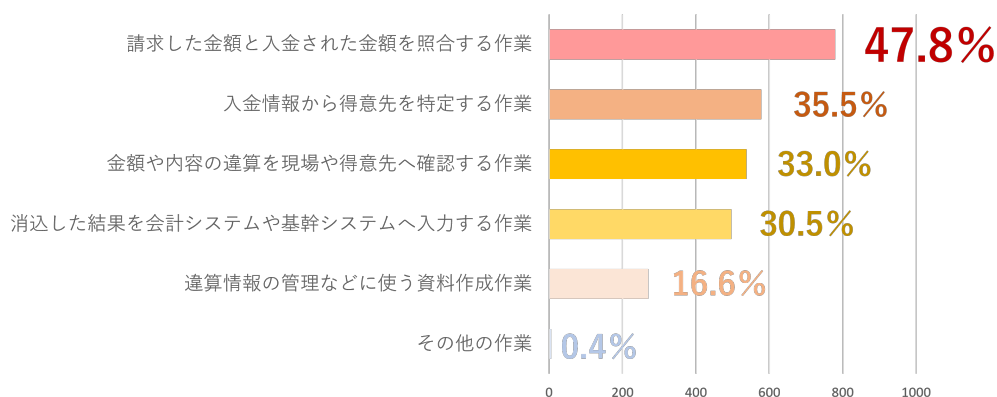
Q.2：あなたのお勤め先企業では、債権情報（請求情報）と入金情報の照合業務（いわゆる入金消込作業）は、手が掛かっていたり、時間のかかる作業になっていますか？



約60%以上が入金消込作業に手間や時間がかかっていると回答しています。会計・基幹システム等の経理周辺システムを利用していても、入金消込作業は大きな業務負担になっていることが伺えます。

- 約50%が入金消込作業のコア業務である請求・入金の照合に手間や時間がかかっている

Q.3：どのような作業が手の掛かる原因になっていますか？（いくつでも）



47.8%が入金消込作業のコア業務である請求・入金の照合に手間や時間がかかっていると回答しています。

また、「得意先入金の特定」や「違算・未収の営業現場や得意先に確認する作業」「消し込みした入金情報を基幹・会計システムなどへ入力する手作業」はいずれも30%以上となっており、照合作業以外でも作業負担が大きくなっています。

- 債権管理・入金消込業務に関する洞察

基幹・会計システムなどで入金消込をしているが、業務負担は解決できていない状態

- 複数請求・一括入金/一括入金・複数請求などの照合に手間がかかっている
- 複数金融機関からの入金データダウンロードし、作業用に加工する
- 入金消込作業に時間がかかるため、滞留債権の管理や督促が遅延する

DXへの取り組みは進んでいるものの、債権管理、入金消込作業には課題が多く、まだまだ手作業・目視などが多数発生し、工数がかかっていることが本調査結果より想定されます。

また、弊社では、2019年8月にも類似の調査を行いました。

ご興味の方は以下リンクよりアーカイブレポートのダウンロードが可能です。

※参照：2019年「入金消込業務市場調査レポート」

<https://form.r-ac.co.jp/download/shijoutyousa>

#### • R&ACについて

- ・社名：株式会社アール・アンド・エー・シー
- ・設立：2004年11月
- ・代表：代表取締役 高山 知泰
- ・資本金：1億円
- ・所在地：東京都中央区東日本橋2-8-3 JMFビル東日本橋01 3F
- ・事業内容：債権管理・入金消込システム「Victory-ONE」シリーズの開発・販売
- ・WEBサイト：<https://www.r-ac.co.jp>

---

株式会社アール・アンド・エー・シーのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/21461](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/21461)

---

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社アール・アンド・エー・シー

TEL：03-5835-2197

Email：[pr@r-ac.co.jp](mailto:pr@r-ac.co.jp)

営業企画部 広報担当 森野